



# せいひ会だより

2015年(平成27年)  
2月1日発行  
<第178号>  
社会福祉法人せいひ会  
<http://www.seihikai.jp/>



## 初詣(生長の家にて)



平成27年、新しい年を迎え、今年も生長の家まで初詣に行ってきました。  
1月1日に行く予定していた事業所もありましたが、雪ちらつくあいにくの天気…。よって、1月2日以降に変更して参拝してきました。  
参拝後はみんなで甘酒を頂き、体もポカポカに。  
今年一年も皆様にとっていい年になりますように…。

## 1月の行事

- 02~07日 初詣(各事業所)
- 07日・21日 書道教室(元亀・通所)
- 12日 陶芸教室(通所)
- 19日 誕生会(元亀・通所)
- 23日 消火訓練(風和)
- 29日 消防訓練(寿限無)



## 2月の行事予定

- 02日 豆まき(GH)
- 03日 豆まき(通所・風和・寿限無)
- 04日・18日 書道教室(元亀・通所)
- 09日 陶芸教室(通所)
- 16日 誕生会(元亀・通所)
- 20日 運営推進会議(GH)



### インフルエンザ等の感染予防について

インフルエンザ等が流行中です。施設来院時の手指消毒やマスク着用等、皆様方のご協力を引き続きよろしくお願い致します。

☆1月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます☆



### 檀浦 純様

大正10年、広島県で5人兄弟の長男として生まれる。両親は共働きで、父は漁師、母は百姓で生計を立てていた。小学校に通う頃から百姓の仕事を手伝い、麦の収穫や芋さしの時期は1ヶ月間学校を休んで働いていた。「ずっと働き放しで太りきれんやった」と話されていた。小学校卒業後、百姓の手伝いをしながら年に1~2ヶ月間学校に通い、中学卒業の修了書を貰ったとのこと。15歳の頃、鯛漁師として親戚3家族で西彼町に移住し、地元の人に船を作ってもらい漁に出ていた。「当時は大きか鯛が1日に200~300匹も獲れよった」とのこと。

今回は生活支援ハウス丘の家:檀浦 純様にお話を伺いました。

23歳で結婚し、しばらくして兵隊として1年半朝鮮半島に行っていた。戦地から戻り漁を再開し、60歳まで働いていた。その後は息子さんに後を継いでもらい、自分の好きな時間に漁をして暮らしてきた。70歳過ぎでグランドゴルフを始め、色々な大会に出て優勝したこともあったそうだ。昨年、奥さんと一緒に丘の家に入居され、普段はテレビでニュースなどを見られ社会情勢にも詳しく、今の世の中について語られることが多い。またデイサービスを利用されており、「地元の知り合いもいて、楽しく過ごしています」と話されていた。

お誕生日おめでとうございます。

# Vitality Space

バイタリティースペース

「Vitality」とは、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。せいいひ会を利用される皆さんの活動には、このバイタリティの力にあふれています。

## うたの時間

いと

はる

元亀 岳本千代子

元亀 北川ヒサ子

文字

こま

風和 山脇カナ

風和 中尾富子

順満帆

達成

通所 秋浦克敏

じゅげむ 山本一枝

二冬過ぎて又三冬  
小鳥が春を待つ如く  
待つて待つて  
会えぬ人の名を呼べど  
とどかぬ月の星のシャワーに  
冷たさよ  
たゞ涙

(通所) 竹下晶子

懐かしい  
お正月の  
餅つきよ

(風和) 中島マツ

鬼火たき  
餅を焼いたり雑煮を煮たり  
神に供えて  
無事を祈るなり

(風和) 立石ミドリ

水仙の  
どこからともなく  
いい香り

(風和) 山口クマ

## 消防訓練

1/23、風和の里で消防訓練を行いました。水消火器を使って、実際の火を消す訓練をした後は、屋内消火栓の説明を受け、放水を体験しました。訓練に参加した職員からは、「消防器の重みや放水時の圧力が体験できてよかったです」との声が聞かれしていました。

## 陶芸教室



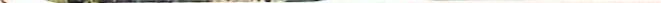
1/12に行われた陶芸教室の様子です。今回は、湯呑みの台の部分を削る作業でした。一つ一つの作業を、真剣なまなざしでこなしていく皆さん。作品の完成が楽しみです。

## 新年を迎えて



風和の里では「ひつじ年」にちなみ、毛糸や綿、カプセルを使って置物を作りました。一つ一つ表情が違ったひつじ達は、ユニット内を和ませてくれています。

新たな年の幕開けに一筆。普段は書かない方も、筆が進んでいたようです。



福笑いを楽しんだ通所の皆さん。できあがったひょっこが、皆さんに笑いをもたらしました。



毎年恒例、グループホームの手形。「今年の抱負」を添えて、力強く押されています。

オヤジ 敏美 の独り言

〈魔の手〉

悲しいニュースが飛び込んできた。「イスラム国」という名の虐殺集団による日本人拉致。そして虐殺されるという『あってはならない事態』が起きた。(悲痛)  
被害にあった方が「イスラム国」に対し、何かしたのか?何もしていない。それどころか「世界平和」を願って危険な地域に飛び込んだ「正義の味方」であった。

テロ集団は、自分たちを『正当化』し、各国の人々を虫けらのように殺していく。人間の仕業とは到底思えない。鬼畜が起こす悪行である。(激怒)  
今後の日本政府及び民主主義国家の『テロには絶対屈しない姿勢』と『確固たる信念』を見せつけてほしい。また、法による裁きを全世界に見せつけてほしいと思った今月でした。

